

# かつての過ちと向き合い 偏見や差別のない未来へ

皆さんは「ハンセン病」を知っていますか？古来より、その患者の多くは、ハンセン病に対する誤った認識によってひどい迫害を受けてきました。7月20日に鹿児島県鹿児島市で、小中学生とその保護者がハンセン病を正しく理解するためのシンポジウムが開かれました。

**ハンセン病とは**  
ハンセン病は「らい菌」という細菌に感染することで起こる病気です。手足の指先の神経が麻痺したり、皮膚がただれたような状態になったりすることがあります。ただし、らい菌の感染力は非常に弱く、感染しても発病することはほとんどなく、発病後も適切な治療を受ければ治ります。

## 映画や講演などを通してハンセン病を学習

今回のシンポジウムでは、第1部で中学生とハンセン病回復者の交流を描いた映画を鑑賞。第2部前半の基調講演では、ハンセン病回復者の岩川洋一郎さんとハンセン病の国立療養所である星塚敬愛園の園長・後藤正道さ

んの話の聞きました。後半のパネルディスカッションでは、地元の中学生在が、県内の国立療養所を訪れて感じたことをまとめた作文を発表したほか、岩川さん、後藤さんと意見を交わしました。

### 基調講演

## 「ハンセン病問題の当事者として」

国立療養所星塚敬愛園入所者自治会会長 **岩川 洋一郎 さん**

誤った国策によって、私は1948年に小学5年生で星塚敬愛園に強制収容されました。療養所では想像を絶する厳しい生活を強いられました。ハンセン病については、早い段階で隔離する必要がないことが分かっていたので、それでも行われた隔離政策は重大な人権侵害でした。ハンセン病問題では偏見や差別の原点を見ることが出来ます。



## 「ハンセン病から学んだこと」

国立療養所星塚敬愛園園長 **後藤 正道 さん**

ハンセン病患者の強制隔離を定めた「らい予防法」が1953年に制定されたことで、偏見や差別はさらに助長されたと言えます。過去の間違った運動や政策は、正しいことをしているという思い込みの下で行われました。今、世の中で起きていることも「本当にそうなんだろうか」と疑ってみることが大切です。



### コーディネーター

公益財団法人人権教育啓発推進センター理事長 **横田 洋三 さん**

現在、日本中でハンセン病に対する偏見や差別をなくすための運動が起こっています。また先日、国連の人権理事会で「ハンセン病差別撤廃決議」が採択されました。これはハンセン病に対する偏見や差別をなくすために世界中の人が力を合わせようという取り決めです。



### ハンセン病療養所を訪れて



**羽崎 千晴 さん**  
霧島市立日当山中学校  
2年生

### 入所者の姿勢を胸に

星塚敬愛園を訪問して、元患者の方々が厳しい環境の中、自立して今を幸せに生きようとしているのを感じることができました。その姿を胸に刻んで、私自身もこれから一歩ずつ確実な人生を歩んでいきたいと思います。

### 今も残る偏見や差別

らい予防法が廃止された今でも、ハンセン病に対する偏見や差別は存在しています。次世代を担う私たちがハンセン病の歴史について正しく学び、元患者の皆さんを決して悲しませることのない世界にしたいです。



**垣内 なずな さん**  
鹿児島市立吉野中学校  
3年生

### 正しく知ることが大切

ハンセン病は感染力がととても弱く、感染したとしても発病することはまれです。しかし、治らないという誤解や、遺伝するという迷信が広まったことで、患者が差別を受けました。「知らない」というのが一番怖いことだと思います。



**中山 莉李 さん**  
奄美市立朝日中学校  
3年生

### まずは日常の意識から

私たちが日頃の生活の中で他人に対して差別をしたり、偏見を持ったりしないことが、何よりも大切です。それが最終的にハンセン病への理解にもつながると思います。世界中の人々が心の苦しみから解放されることを祈っています。



**長崎 大成 さん**  
鹿児島市立大始良中学校  
3年生

## コンサートでは会場が一体に

第3部は、歌手の大和田りつこさんと岡崎裕美さん、鹿児島市立少年合唱隊によるコンサート。人気キャラクター「アンパンマン」の生みの親である、やなせたかしさんが作詞・作曲をした曲や夏の童謡が披露されました。



知っていますか？「子どもの人権110番」  
いじめや体罰などの困りごと、ひとりで悩まないで、相談してください  
ゼロ ゼロ ななのひゃくとおぼん  
**0120-007-110**  
(受付時間/平日8:30~17:15)

相談無料

### 「インターネット人権相談」

インターネットでも人権の相談を受け付けています

パソコン <http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>  
ケータイ <https://www.jinken.go.jp/soudan/mobile/001.html>

子どもの人権 SOS-メール



- 法務省人権擁護局ホームページ <http://www.moj.go.jp/JINKEN>
- 人権啓発活動ネットワーク協議会ホームページ <http://www.moj.go.jp/jinkennet>
- YouTube 法務省チャンネル <http://www.youtube.com/MOJchannel>
- YouTube 人権チャンネル <http://www.youtube.com/jinkenchannel>
- 人権ライブラリー <http://www.jinken-library.jp>

### ハンセン病問題啓発ビデオ

## 未来への虹

～ぼくのおじさんは、ハンセン病～

ハンセン病回復者の平沢保治さんをモデルにして書かれた子ども向けの本をもとにしたアニメーション作品です。ハンセン病問題や人権の大切さについて正しく理解することができます。



### 〈ストーリー〉

小学6年生の正太は、国立療養所多磨全生園に住む平沢保治さんのもとへおつかいを頼まれた。初めて訪れる多磨全生園がどのような所か分からず、平沢さんの容姿に驚いて戸惑いを覚える正太。そして平沢さんは語りかける。ハンセン病にかかり、14歳の時に茨城県から入所したこと、外見がほかの人と違うために差別を受けてきたことを…。

